

家庭学習の手引き

豊川小学校 5・6年生用

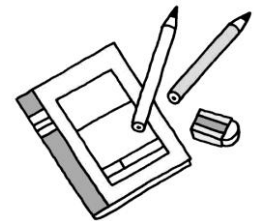
《なぜ家でも学習するの？》

- 1, 毎日勉強する習慣を身につけることができます。
- 2, 漢字や計算の練習にじっくり取り組むことができます。
- 3, 学校で学習した内容を復習し、しっかり身につけることができます。
- 4, 自分で考え、進んで勉強できる子になります。

《どれくらいやればいいのか？》

10分間×□学年 以上

※ 5年生は50分間・6年生は60分間以上学習しましょう。



《何をやればいいのか？》

- ①宿題をすませる。
- ②自主学習に取り組む。

【国語】

○教科書やノートを見て、その日の授業で学習したことをまとめ直す。

○次に学習するところを読む。

○意味の分からない言葉を調べる。

○詩や俳句・短歌を書いたり、名文を暗唱したりする。

【算数】

○教科書やノートを見て、その日の授業で学習したことをまとめ直す。

○次に学習する問題に挑戦してみる。

○教科書やドリル、問題集の問題などを解く。

○テストやプリントをやり直す。

【社会・理科】

○教科書やノートを見て、その日の授業で学習したことをまとめ直す。

○授業で取り上げた内容を図鑑やインターネットで調べる。

○新聞やニュースを見て意見や感想をまとめる。

○都道府県や県庁所在地などを覚える。

《気をつけること》

- ※ 毎日同じ時間に勉強するようにしましょう。
- ※ 読書も毎日続けましょう。
- ※ テレビを消して、集中して勉強しましょう。
- ※ ゲームは勉強の後にやります。
- ※ 学習が終わったら、明日の準備をしましょう。



保護者の皆様へ

【家庭学習をする意義】

- ① 学校で学んだことを再び家庭でも学習することにより、学習内容の確実な定着を図る。（学習内容の定着）
- ② 家庭学習の時間を確保することにより、学習する習慣を身につけることができるようにする。（学習の習慣化）
- ③ 中学・高校での家庭学習の基礎づくりをするとともに、生涯にわたる学びの継続を目指す。（生涯学習の基礎づくり）



【家庭学習の内容】

学習の基礎基本は、「読む力」「書く力」「計算する力」です。そこで、まず、家庭学習においては、それらの力をつけていく内容にします。下記のことのできていたり、時間的余裕があったりすれば、自分のよさをさらに高めていくための学習（予習・調べ学習など）をします。

読む力を高めるために

- 教科書に書かれている文章を声に出して正しく読める。（音読）
- 1日10分は読書をする。（読書の習慣）
- その学年で習う漢字が読める。（漢字練習）

書く力を高めるために

- その学年で習う漢字や前の学年で習った漢字が正しく書ける。（漢字練習）
- 学校や生活の中であったことを文に表す。（作文や日記）

計算する力を高めるために

- 学校で習った内容の復習をする。（プリントやドリル）

お願い

- ① 今、どんな学習をしているのか、お子さんの様子を見てあげてください。
何をしていいか悩んでいるときには相談にのってあげてください。
- ② 声かけや見届けをしてください。「勉強しなさい」だけではだめです。
楽しむつもりで一緒に取り組んだり、困っているときには教えてあげたりしましょう。
- ③ 落ち着いた中で、じっくりと学習に取り組めるようにしてください。「ながら勉強」「ゲームをしてからの勉強」はやめさせましょう。
- ④ やったことを認め、ほめて子どもを伸ばしていきましょう。「こんな勉強もできないの」では、子どもは伸びません。子どもは、親に一番認めてもらいたいと思っています。